

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー

代表者名 代表取締役 会長兼社長 CEO 藤原 洋

(コード番号 3776)

問合わせ先 常務取締役法務・経理統括 中川 美恵子

(TEL. 03 – 5202– 4800 代)

2021年12月期第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、本年2月10日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正

(1)2021年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年1月1日~2021年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	円銭	
	4,800	riangle 215	riangle 250	△4.18	
今回修正予想(B)	4,850	riangle 55	△135	$\triangle 2.26$	
増減額(B-A)	50	160	115		
増減率	1.0%	I			
(ご参考) 前期第2四半期実績	5 201	316	287	4.81	
(2020年12月期第2四半期)	5,301	310	201	4.01	

(2) 2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年1月1日~2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
	7,800	$\triangle 300$	$\triangle 300$	$\triangle 355$	$\triangle 5.94$
今回修正予想 (B)	7,870	30	20	△115	$\triangle 1.92$
増減額(B-A)	70	330	320	240	
増減率	0.9%				
(ご参考) 前期第2四半期実績	0.000	387	394	306	5 19
(2020年12月期第2四半期)	8,683	567	594	506	5.13

2. 2021年12月期 通期業績予想数値の修正

(1)2021年12月期 通期個別業績予想数値の修正(2021年1月1日~2021年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	円銭	
	9,400	$\triangle 530$	$\triangle 570$	$\triangle 9.53$	
今回修正予想(B)	9,500	$\triangle 470$	$\triangle 560$	$\triangle 9.36$	
増減額(B-A)	100	60	10		
増減率	1.1%	I	_		
(ご参考) 前期実績	0.010	425	270	4.53	
(2020年12月期)	9,919	425	270	4.03	

(2) 2021年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日~2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	15,550	$\triangle 700$	$\triangle 715$	△800	$\triangle 13.37$
今回修正予想(B)	15,750	△480	$\triangle 505$	$\triangle 665$	△11.12
増減額(B-A)	200	220	210	135	
増減率	1.3%			1	
(ご参考) 前期実績	16,077	524	530	342	5.73
(2020年12月期)		324	990	542	9.75

3. 2021 年 12 月期第 2 四半期(累計)及び通期業績予想修正の理由 (個別業績予想)

第1四半期(2021年1月~3月)の実績をもとに、2021年12月期の業績予想を見直しましたところ、売上高は、主にデータセンター及びデータ・ソリューションの売り上げが、第1四半期は順調であったこと、利益面は、売り上げの増加に加え、データセンターのオペレーション効率化による原価低減、旅費交通費等の費用が抑制傾向であること等を踏まえ、上表の業績予想数値に修正いたしました。なお、下期は段階的な運用受託サービスの売り上げ減少、広告宣伝費、旅費交通費等の費用増加を見込んでおります。

(連結業績予想)

連結業績予想につきましては、個別業績予想の修正に加え、売上高は、主に株式会社エーアイスクエア及びジャパンケーブルキャスト株式会社の第1四半期における売り上げの増加、利益面は、連結子会社において旅費交通費等の費用が抑制傾向であること等を踏まえ、上表の業績予想数値に修正いたしました。なお、下期は個別業績予想の要因に加え、子会社における旅費交通費等の費用増加を見込んでおります。